

2022年度事業計画

既に2年を超える新型コロナウイルス感染症は、国内外経済や社会活動に大きな打撃を与え、人々の生活を大きく変容させて、未だにその収束は見えない状況が続いています。

我が国の鉄道は、インバウンドを始めとする観光需要の激減、テレワークの浸透などによる旅客輸送の大幅な減少にとどまらず、社会、生活様式の将来にわたる大きな変化に直面しており、新型コロナウイルスが顕在化、加速させた姿への対応が急務となっています。

この様な状況を踏まえ、JR各社は、グループ経営計画など戦略の再構築や強化を図り、今までに無い状況に合わせた柔軟な輸送ダイヤや、新しい仕事の仕方、組織の形など施策の推進、変革のスピードを速めています。

協会会員会社においては、技術の継承や従業員の確保が引き続き厳しいなかで、新型コロナウイルス感染防止対応などの新たな役割業務を担い、JRグループ会社の一員として、安全安定輸送の確保、経営の効率化及びお客さまサービスの向上、安心の提供がより一層求められています。

以上のような状況を十分に認識し、会員会社相互間の情報交換を目的とした各種会議の開催、経営幹部を対象としたセミナーの開催、従業員の知識及び技能の向上に資する講習会の開催や協会誌「きずな」の充実のほか、従来にも増して活性化した委員会活動を企画するなどして、会員会社の負託に応えられるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況を勘案し、海外鉄道事情視察については、中止としました。

2022年度事業計画は、下記のとおりであります。

記

I 会務関係

1 会議の開催

- (1) 定時社員総会
- (2) 理事会

II 事業関係

- 1 会員会社に共通する諸問題に取り組むため、代表者会議を開催する。
- 2 会員会社相互間の情報交換、業務知識並びに技術力の向上、新技術の調査・研究を図るため、専門委員会及び講習会等を開催する。
 - (1) 作業近代化委員会
 - (2) 構内作業委員会
 - (3) 検修作業委員会
 - (4) サービス向上委員会(清掃・駅業務)
 - (5) 編集委員会
 - (6) 経営セミナー

- (7) 新任役員セミナー
- (8) 社員の技能と資質向上のための研修会、講習会等
 - ① 管理者安全講習会の開催
 - ② Q C活動(リーダー・支援者)講習会の開催
 - ③ Q C活動全国発表大会の開催
 - ④ 職能別安全衛生に関する講習会の開催
 - ⑤ 技術講演会、各種見学会の実施
- 3 刊行物の配布
 - (1) 協会誌「きずな」を発行し、会員会社、国立国会・都道府県立図書館等に配布
 - (2) 会社要覧、会員会社名簿等の作成及び配布
 - (3) 労働災害統計の作成及び配布
- 4 資格認定業務
 - (1) 技術員資格認定講習会の開催及び認定試験の実施
 - (2) 資格認定業務審議会及び小委員会の開催
 - (3) 作業安全責任者資格認定の講習会の開催
- 5 表彰関係
 - (1) 定期表彰の実施
 - ① 優良団体
 - ② 優良社員
 - ③ 作業近代化功労
 - ④ 構内作業功労
 - ⑤ 検修作業功労
 - ⑥ サービス向上功労
 - ⑦ 協会誌「きずな」優秀作品
 - (2) 随時表彰の実施
 - 安全成績優良団体表彰：安全作業の確立に努め、優秀な成績を上げた団体
 - (3) 叙勲、国土交通大臣表彰、褒章の推薦
- 6 事務局関係
 - (1) 協会のPR
 - ① 交通新聞に設立記念式典及びQ C活動全国発表大会の記事を掲載
 - ② 交通新聞に広告を掲載
 - ③ ホームページの更新
 - (2) 事務の能率化
 - (3) その他必要な事業の展開